

2009年4月11日（土） 第1回 スポーツ委員会 江東区区民館会議室

出席者： 小田切・中口・竹沢・水上・千住

I 連盟が管理するパイバル計測器の運用と管理について

・問題

機器は精密であるが、運送業者による運送時の衝撃でも不具合が生じ、各大会への貸出機器としては修繕等の維持管理が困難になっている。

・方針

現在稼働している1号機と2号機については売却し、貸出し用としてはコンパクトで新しく、価格が低廉なものを検討する。

売却先は公募するが、公認大会の主催者を優先する。

・その他検討事項

維持管理の委託等

II 日本選手権開催要件の緩和について

・問題

日本選手権の開催について、各公認大会主催者からアンケートをとったところ、「ローンチサイトの容量」「財政的負担」「役員不足」などがハードルとなっていることが表われた。

・方針

スポーツ規定4-6 1)の機数制限の禁止事項について、50機未満から30機未満へと緩和する。

*各公認大会の多くは30機前後の大会規模であり、規模を拡大せずに日本選手権を開催することが可能になる。

・その他検討事項

適用ルールについて

立候補の締め切り時期について

III NRSの決定方法の変更について

・問題

世界選手権の代表選手の決定は、その過半数が前年の日本選手権及びNRSの成績に拠るが、準備期間が1年未満ではスポンサーの獲得やプレ大会への参加などが難しい。

・方針

NRSを世界選手権の代表選考方法という面で考えた場合、NRSによる選考に関しては、世界選手権の前々年に決定した方がよい。そのためには、より実力や実績を反映できるよう、計算スパンを現在より長くし、過去のカテゴリ-1クラスの大会における実績を加点するシステムについて今後検討する。

*CIAのワールドランキング方式を参考とする。

IV その他

・オブザーバーシステムについて